地域当事者部会

「デフリンピック」は知っていますか？
ろう者のためのオリンピック、デフリンピックです。
オリンピック、パラリンピックはすでに知れ渡っていますね。デフリンピックは 100 年の歴史あるパラリンピックより長い歴史を誇っているにも関わらず、国内では認知度が低く、まだまだ広く知られていません。来年夏季デフリンピック競技大会東京で 11 月に開催されます。関心がありましたら観てください。

都島区聴言障害者協会
会長布村

デフリンピックとは、デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」なのです。国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催し、4 年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会です。第 1 回は、1924 年にフランスのパリで開催されました。
東京 2025 デフリンピックは、100 周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。国際手話のほか、スタートランプや旗などを使った視覚による情報保障が特徴です。
デフリンピックには、①「ほちょう器」などを外した状態で、きこえる一番小さな音が 55dB（デシベル）※を超えており、②各国の「ろう者スポーツ協会」に登録されている選手で、記録・出場条件を満たしている人が参加できます。

※dB は音の大きさを表し、数字が大きいほど音が大きい

※55dB はふつうの声での会話がきこえない程度